

# この「み日和」

京都発！ごみ減量情報誌

三部式にリメイクして着物をもっと身近に  
株式会社 dricco

vol. **92**

映画を愛する人をつなぐ  
株式会社 京都映画センター

企業の垣根を超えた取組で、  
循環型社会を創る  
花王株式会社

なごみ日和  
「SUKI NA BASHO DE HONPOU NI」

もっぺん物語  
「パソコン修理の亀幸」

みんなの共同クローゼット  
「ベビー&キッズ用品交換会」～わたしたち～

ごみにまつわるこの数字はなに？

**野菜・果物の 1.5kg**

答えは WEB へ！

※トップページ「よもやま話 ごみ減のごみ袋」  
をご覧ください。

京都市ごみ減量推進会議



表紙デザイン  
嵯峨美術大学 デザイン学科 4年  
稲堂丸 怜菜

## 簡単なのに着姿は本物! 三部式にリメイクして 着物をもっと身近に

ドリッコ  
株式会社dricco



岩崎裕美さんと絵美さん。蔵をリノベーションした本店の前で

もっと気軽に着物を着てほしい——そんな思いから開発された京都生まれの「driccoきもの」。一人で簡単に着られる三部式なので、着物初心者や若い女性から、せっかく誂えた着物がタンスの肥やしになっているというシニア層まで、あらゆる世代の女性たちから好評を博している。今回は、三部式着物の開発・販売を手がける株式会社driccoの会長、岩崎裕美さんと、同代表取締役の絵美さん母娘に、開発までの経緯や製品の特徴、こめられた想いなどを伺った。

### 若い世代に見直されている着物

京都の観光スポットで、着物姿でそぞろ歩きを楽しむ観光客をよく目にする。京都には身ひとつで行けば、着物や帯、小物類まですべて用意し、着付けからヘアセットまでしてくれるレンタル着物店が多数あり、「着物で散策したい」という若い女性や外国人観光客にたいへんな人気だ。

若者の着物離れが言われて久しいが、近年、「和女子」といった言葉が生まれるなど、和モノや和文化に興味をもつ女性が増え、着物にも注目が集まっている。

今年4月、京都光華女子大学キャリア形成学科では、新入生研修として日本の伝統文化に触れ理解を深めてもらう体験型の講義が実施された。着物を着付けてもらった学生たちが、ふろしき講座を受講し、自分の作ったふろしきバツ

グを手に市内を散策するなど、実際に着てみることで、着物を身近に感じられる機会となった。参加した学生たちからは「普段からもっと着物を着たい」、「自分で着られるようになりたい」といった声が聞かれた。



着物姿でふろしき講座を受講。熱心に聞き入る京都光華女子大学キャリア形成学科の学生たち。講師は一般社団法人ふろしき研究会代表理事 森田知都子さん

着物が好き、着物姿に憧れる、という人でも「一人で着られない」「締め付けが苦しい」「動きにくい」「扱いが難しい」など様々な理由で、着物を着ることをあきらめているケースが多い。そんな人にもっと気軽に、簡単に着物を着てほしいと開発されたのがdriccoきもの。

「きっかけは『京小町踊り子隊』の衣装なんです。こう話すのは、driccoきもの考案者である裕美さん。アナウンサーとして活躍する一方で、2004年にきもの文化や京都の魅力をアピールすることを目的としたNPO法人「京小町踊り子隊」を立ち上げた。dricco(=お“どりこ”)という名称もここから来ている。

### 早変わりの衣装に着想を得た dricco きもの



平安神宮・応天門をバックに踊りを披露する京小町踊り子隊。driccoきものを着用しているのがダイナミックに動いて、しかも着崩れない

「華やかな振り袖姿の若い女性たちがはつらつと舞い踊れば、見る人を元気にできて、京都の地場産業である着物の振興にも繋がると思ったからです」。日本だけでなく海外にも遠征し、姉妹都市提携や経済交流にも一役買っ

### 着付けは簡単、でも着姿の美しさは本物

driccoきものとは、上衣、下衣(巻きスカート)、おはしよりベルトの3つのパーツに分かれた三部式着物で、着付けを知らなくても一人で簡単に着ることができる。これまで簡易着物といえば、和食店の制服などで見かける“なんとなく着物に見える”二部式着物だったが、driccoきものは、おはしより部分を作ることで着姿を本物に近づけた。着崩れのもととなる長襦袢をなくし、半衿だけをスナップで着物にとめる。和装小物は使わず、着物に付けられたひもを結んだり、ループに通すだけで簡単に着付けができる構造になっている。「着やすいように構造改革はしましたが、着姿の美しさ」は妥協してません。どこから見ても普通の着物と変わらない王道スタイルを目指しました」と裕美さん。上衣は抜き衿がきれいに決まるよう背中のループの位置を考慮し、下衣は前裄上り、裾すばまりの着姿が完成するよう腰の丸みに沿ってダーツを取った。帯も胴巻きとお太鼓

る。踊り子隊の活動を続ける中で、早変わり用の衣装として考案したのが三部式の着物。京都造形芸術大学(現京都芸術大学)服飾デザイン科の教授に相談し、試行錯誤を繰り返して約2年かかって実用新案登録を取得した。



3つのパーツに分かれた三部式「driccoきもの」

に分かれた二部式の作り帯。帯揚げは筒状に縫い込んであるので、きれいに結べる。他にも「簡単」で「きれい」に着るためのしくみや工夫が随所に見られ、現在も改良を続けているという。

素材は正絹・綿・ポリエステルとあらゆる種類がある。ポリエステルはシワにならず、洗濯機で丸洗いができ、比較的手ごろなお値段で購入できるので着物初心者には魅力的だろう。

### タンスに眠っている着物を三部式にリメイク



華やかな小紋の着物で取材に応じてくださった絵美さん。お母様から受け継いで三部式に仕立て直しのお気に入りの一枚だそう

NPO法人としてdriccoきもの普及を続けるうちに口コミで人気広がりが、お客様の声に応える形で、2018年10月に株式会社として起業した。「これからの時代はあなたがやらないと」と背中を押され、娘

の絵美さんが社長に就いた。百貨店の呉服売り場にも出店し、販売とレンタルを行っている。

「初めは着物初心者の方に向けて開発したのですが、お茶の先生や着付けを習われた方からも、腕が上らないからとか、着付けだけで汗だくなるからと言ってdriccoきものを着てくださってます。『これだけきれいに着られるなら、楽でええわ』という言葉が励みであり、誇りです」と絵美さんは話す。

2020年4月から、着物を三部式着物に仕立て直すサービスを開始した。嫁入り支度で誂えた着物がタンスで眠っている、母や祖母の着物がそのまま残っている、という家は多いのではないだろうか。「着たいけれど、着付けがねえ」というなら、三部式にリメイクして、洋服感覚でどんどん着てはどうだろう。おはしよりで隠れる下衣の部分に布を継ぎ足せば、丈は10cm程は調節することも可能だ。

「driccoは呉服屋ではなく『着物普及屋さん』だと思っています。分からないことは何でもお尋ねください。ワンピースを買うような気軽な感覚でいらしてください。」この絵美さんの言葉が何とも心強い。あらゆる世代の「着物を着たい」という想いを受け止め、可能性を広げてくれるに違いない。

### driccoきもの本店

〒604-8072 京都市中京区六角通麩屋町東入八百屋町106 SPACE106奥(蔵)  
Tel: 090-9701-3879 ホームページ <https://dricco-kimono.com/>

driccoきもの高島屋店 京都高島屋5階呉服売場





自主制作した「Wendeヴェンデ」について語る、竹内守さん

## 映画を愛する人をつなぐ

### 創る人のために、観る人のために

## 株式会社 京都映画センター

映画とごみ減量?映画と環境?どこでどう繋がるの…。頭を捻っても回路が見つからないまま、京都映画センターに向かった。河原町二条から少し西に建つビルの4階。扉を開けると、いきなり一枚のポスターが目飛び込んできた。

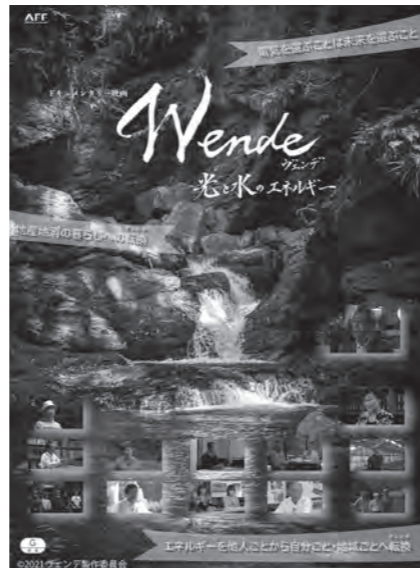
### エネルギーの地産地消を「Wendeヴェンデ」に込めて

流麗な筆文字で表された「Wendeヴェンデ」の文字。下には光と水のエネルギーと記されている。挨拶もそこそこにポスターを指差し「これは?」と尋ねてみた。「昨年6月から制作し、3月に発表したばかりの作品です」。文化庁の支援事業として制作したという。「Wendeヴェンデ」はドイツ語で大改革の意味を持つ言葉だそう。「化石燃料や原子力に頼らず、再生可能エネルギーへ転換する改革の意味でタイトルにしています」と、竹内守代表取締役は、柔らかな笑顔をみせながら語ってくれた。

再生可能エネルギー事業は今、日本ばかりか世界各国で導入が活発化している。持続型社会に向けた国際的な動きであるSDGsの7・13番目の目標であり、化石燃料から再生可能エネルギーへの移行は、2030年度までに温室効果ガスを46%

削減という目標を掲げる日本においても最重要課題である。

「Wendeヴェンデ」は、国の動きに先駆けて、いち早く再生可能エネルギーを導入し、地域の電源として運営している事例を紹介するドキュメンタリー映画である。



「Wendeヴェンデ」のポスター。上映会の申込を受付中

### 地域で開発し地域で使う小水力発電やバイオマス

実例として登場するのは、南丹市大河内地区の電力をまかなうための太陽光発電や、ソーラーパネルの設置資金を集めた「わたしのでんき」の取組など、関西地区において地域ぐるみで再生可能エネルギーを創出している現場である。

そのうちのひとつ、奈良県東吉野村の「つくばね発電所」は、大正時代に活用されていた水力発電を地域住民らが中心になって復活させ、高見川支流・日裏川上流の水系を活用し、最大出

力82KWの力を持つ小水力発電所として復活させた事例である。

京都市南部クリーンセンターも登場する。市が回収した「燃やすごみ」の中から生ごみなどの有機物を微生物の力によって分解し、発生したバイオガスを利用した発電の現場が画像で流される。因みに、2020年度は年間18,402トンの生ごみをバイオガス化し、得られた発電量は7,475MWhにもものぼる。

小さくていい、自分たちが使うエネルギーは自分たちの地域でという考えに基づき、エネルギーの地産地消を呼びかける「Wendeヴェンデ」。日本では、2022年発表の第6次エネルギー計画では、再生可能エネルギーの比率を36~38%にという、

### 思いを込めて映画を創りたい人がいる 思い溢れる映画を待つ人がいる

「Wendeヴェンデ」は大手の映画館では上映されない。自主上映という仕組みの中で制作され、小規模運営の配給会社により上映される流れがあるからだ。この実例から京都映画センターの事業が見えてくる。

太平洋戦争後の日本、1950年代から60年代にかけて、映画産業は全盛期にあった。年間500本を超える映画が上映され、映画館も大入り満員。大衆娯楽として花形だった。ところが急速に斜陽化が進む。テレビの台頭である。1960年代ごろから家庭に普及したテレビの影響は映画という事業を追い詰めた。映画館は減少し、映画制作の現場も廃れる。

その後、1990年代に登場したシネマコンプレックス（以下、

### こぼれ落ちた作品を拾って、届けたい

京都映画センターは1970年に設立されている。設立目的は書かなくてももうお分かりだろう。大手配給会社に取りこぼしてしまう映画を求める人々に向け配給すること。そんな役割を担おうとの思いが設立を促した。そして設立後は、数々の自主上映作品の配給を手掛けてきた。「環境関連では2006年公開の『不都合な真実』は、印象深いですね」と竹内さん。

2022年の今、世の中を見回してみれば、動画配信サービス

高い目標が示されている。今こそ、「Wendeヴェンデ」は観るべき映画と言える。視聴による意識向上や行動のモチベーション効果は大きいことだろう。「Wendeヴェンデ」は、3月に京都の映画館で公開後、各地での自主的な公開が予定されている。

シネコン)という大型商業施設に付随する形態により映画は変化する。シネコンの広がりや映画の上映数は増えたが、スペクタクルなど大手配給会社が扱う観客動員力を持ち、興業収入が得られる作品が主軸になり、社会的なテーマや良質で芸術性が高くても小粒な作品は上映機会を失う。

大衆娯楽であり、総合芸術でもある映画。旺盛な表現意欲を持つ製作者は熱意を持って作品を創る。思いをこめて企画し映像化して完成させた作品は、社会の中へ解き放たれ、人々の目に触れ、人々の感性に何かを呼びかけてこそ意味を持つ。そして、良質で芸術性の高い映画作品を支持する人々は、熱意ある製作者の作品の公開を待っているのだ。

が次々立ち上がり、公開される映画が話題を呼んだりしている。どんな時代にあっても、映画は人を魅了する。映画館は映画を共有する集客装置としてあり続ける。映画という媒体を取り巻く状況が、渾然一体となっている時代だからこそ、創る人と観る人の橋渡し役としての京都映画センターのような活動が真価を発揮する時なのかも知れない。

### 京都映画センターが配給を手がけてきた環境をテーマにした映画

- 「WATARIDORI」(2001年) フランス、2003年配給  
春が訪れると北極を目指して飛び立つ渡り鳥の苦難を乗り越えてゆく生態を捉えた映画。
- 「デイ・アフター・トゥモロー」(2004年) アメリカ  
南極を調査中に起こったひび割れから地球の変化を予測。地球温暖化、大災害、絶対零度の世界が描かれる。
- 「不都合な真実」(2006年) アメリカ  
元アメリカ合衆国副大統領アル・ゴア氏による地球温暖化に関する演説を追ったドキュメンタリー。
- 「アース」(2007年) ドイツ・イギリス  
熱帯、深海など全世界に生息する動物たちの命のドラマ。世界200箇所撮影。
- 「オーシャンズ」(2010年) フランス  
世界中の海とそこに暮らす生命体を映像美で描くドキュメンタリー。
- 「フード・インク」(2011年) アメリカ  
アメリカ人の食について。食材が作られていく過程を捉え、利益優先による実態に警鐘を鳴らすドキュメンタリー。
- 「おだやかな革命」(2017年) 日本  
福島原発事故後、酒蔵の当主が立ち上げた会津電力など、地産地消の自然エネルギーが描かれている。



京都映画センターは、すべての人に映画を届けたいという思いから、日本語字幕、音声ガイドを導入した、バリアフリー上映会に取り組んだ(是枝裕和監督『奇跡』(2011年公開)、ハートピア京都にて)。

「Wendeヴェンデ」は2022年7月16日(土) 榎原文化会館、17日(日) 奈良県文化会館で上映予定。詳しくは京都映画センターへ問い合わせを。

株式会社 京都映画センター 〒604-0931 京都市中京区二条通寺町東入ル 河二ビル4F

TEL. 075-256-1707 FAX. 075-255-1905 E-Mail : info@kyoto-eiga.co.jp

ホームページ <http://www.kyoto-eiga.co.jp/>



## 企業の垣根を超えた取組で、循環型社会を創る

～花王株式会社～

私たちが日常の中で利用しているプラスチックは、生活に欠かせないものである一方、近年海洋汚染をはじめとする環境問題の要因となっている。2022年4月から施行されたプラスチック資源循環促進法<sup>\*1</sup>がプラスチック削減の追い風となる中、その動きに先駆け化粧品プラスチックボトルの水平リサイクル実現に向けた取組を行っている花王株式会社（以下、花王）、商品開発戦略部長の大塚由喜男さんとコーポレート戦略部門の待本雅哉さんにお話を伺った。

### ～化粧品ボトルを再び化粧品ボトルへ～

日本を代表する日用品メーカーである花王は、「豊かな共生世界の実現」に向けて、洗剤やサニタリー商品、ビューティーケア商品など多岐に渡る事業展開を行っている。

今回注目した化粧品プラスチックボトルの水平リサイクルとは、株式会社JEPLAN<sup>\*2</sup>の保有するケミカルリサイクル技術を活用し、化粧品の“ボトルからボトルへ”を目指す、先進的な取組である。

第一弾として、2021年6月より化粧品ブランド「**TWANY**」のボトル容器にケミカルリサイクルPET素材を採用し、パージンPET素材と同等品質の容器製造に成功している。

第二弾では、2022年2月1日からの6か月間、「**TWANY**」などを取り扱う関東エリアの一部店舗にて、使用済み化粧品ボトルを店頭で回収。回収した使用済み化粧品ボトルを用いて再び化粧品ボトルを製造する実証実験を行っている。



「TWANY」の化粧品ボトル

水平リサイクルの試みを伝えるべく、売り場では美容部員を介してお客様一人ひとりに丁寧な説明を行っている。よく来店されるお客様ほど反応が良く、前向きに取り組まれる方が多いようだ。

今後は、使用済み化粧品プラスチックボトルを回収し、化粧品ボトルへ再生する、“ボトルからボトルへ”の水平リサイクル実現に向け、(株)コーセーとも協力しながら推進していく、と大塚さん。両社の知見を持ち寄り、花王とコーセーによる協働スキーム構築を加速させていく、と力強く語ってくれた。

### ～絵具などへの化粧品再生利用の取組～

もう一つ、コーセーとの協働取組として、絵具などへの化粧品再生利用を行っている。役目を終えた化粧品から絵具を作るモーニングータ社（東京都練馬区）の事業に賛同し、

化粧品の研究開発の過程で不要となった自社の素材を提供し、新たな付加価値を創造している。元々、メイクアップは多様な色を楽しむものであるが、本取組では研究開発の過程で不要となったものを再利用しているため、唯一無二の色の絵具となる。したがって、二度と出会うことがないかもしれない色の絵具を、家庭の中で子どもと一緒に楽しみながらSDGsに貢献できる画期的な取組である。



家庭で不要になった化粧品を絵具として再生できるキット（左）と化粧品から製造した絵具（右）

### ～消費者ができること～

今回紹介した取組は、今後幅広く使用済みPET素材のリサイクルを促進し、不要なプラスチックの削減や再生材の安定的供給に寄与する取組である。しかし、消費者の中に「水平リサイクル」という考えが知れ渡っていないというのが現状である。私たち消費者は、この取組に参加することで、この考えを企業と共に社会に広めていくことが大切である。

また、一人ひとりが毎日の暮らしの中で、購入した製品を一度の使用で廃棄するのではなく、中身を入れ替えて再利用し、長く大切に使うほしい。その過程で劣化したボトルを回収して再生することで、プラスチック循環社会の実現を目指していきたい。

肌と地球と社会をきれいにする取組を、一緒に進めていこう！

<sup>\*1</sup> プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の略称。2021年6月公布、2022年4月1日施行。

<sup>\*2</sup> 2022年6月1日付で、日本環境設計株式会社から「株式会社JEPLAN」に社名変更。

●ホームページ <https://www.kao.com/jp/>

河原 凜（京都光華女子大学キャリア形成学部）

（2022年4月25日取材）



なごみ  
日和



KBS 京都 アナウンサー

うみひら なごみ  
海平 和

### ●● 第34回 「SUKI NA BASHO DE HONPOU NI」 ●●

「海辺のちようちん屋さん」と聞いてどんなイメージを持ちますか？青い空と青い海がどこまでも続く、そんな美しい京丹後市網野町の八丁浜から歩いてすぐの場所にそのお店はあります。江戸寛政年間創業、京提灯を手掛ける小嶋商店の10代目兄弟の兄、小嶋俊さんが去年、網野町に移住し、新たに「小嶋庵」として立ち上げた工房です。

もともと丹後ちりめんの機織り工場だった風情ある建物、高い天井から吊るされた提灯があたたかい雰囲気を醸し出します。更に、その空間をあたたかくしているのは、俊さん・宏美さんご夫妻とそこに集まって来る人たち。私が訪れた時も、近所にお住ま

海平 和：京都市出身、2010年KBS京都入社。テレビ「京biz」、ラジオ「ファミリーレストランと海平和のめっちゃうま」などに出演。

いの2人の女性が提灯づくりを手伝わられていました。もちろん、提灯づくりは真剣に、ですがとても和やかで、私はこの空間や、小嶋夫妻のお人柄、そして手掛けられる提灯の、すっかりファンになりました。

俊さんは、父や弟がいる京都市内の工房から離れた網野の地で、これまでに培ってきた技をいかし、伝統を守りながらも新しいスタイルで丁寧に提灯づくりを続けています。そして、興味を持って集まって来た方の中から新たな職人さんを育てながら、地域の祭りの提灯づくりなどこれまではなかった挑戦にも夢をふくらませていらっしやいます。

モットーは、制服のTシャツにも印字されている「SUKI NA BASHO DE HONPOU NI」。この先、京丹後市からどんな光を照らされるのか、ワクワクします。



## 人と物と。織りなす「もっぺん」物語



第 21 回

### 頼りになります。トラブルの助っ人「パソコン修理の亀幸」

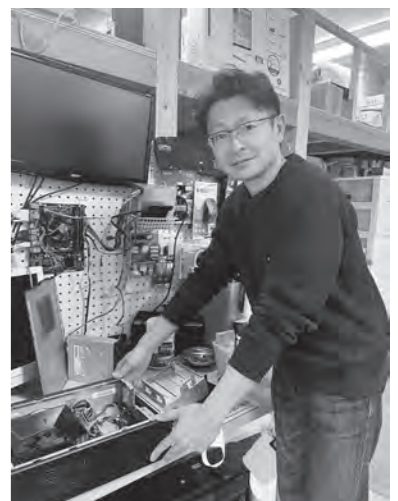
「大事なデータを守ることができた」「新品に買い替えずに済んだ」…。修理を依頼されて復旧後、そんな声が届くことがあるという。パソコン修理の亀幸を起業して14年以上。開業医、学校関連など、機密データを扱うユーザーもあり、「命の恩人」に近いと感謝されることも。もちろん、ちょっとした修理の対応もOK。ビジネスをはじめ、家庭や個人にとってパソコンは必需品でもある。しかし、パソコンという情報通信機器、使いこなすには知識や技能が必要で、思い通りには動いてくれない。時には「起動しない」「画面が固まってしまう」などのトラブルも。構造も機能も複雑な上、進化も早く、一般ユーザーは取り残されてしまう。パソコン修理は専門家の領域となる。しかし、製造元や発売元に問い合わせると、対応不可と返されたりする。「どうしたらいい？」、戸惑うばかりのユーザーに対応するパソコン修理業は乱立状態。価格協定などがないため、高額を要求される場合もあると聞く。さらに修理に要する時間も気がかり。亀幸は明瞭価格設定に徹している。修理に要する時間もほとんどの場合、即日か翌日で完了する。



様々な修理に対応するため、部品の準備を怠らない。

亀幸の事業は、パソコンの修理が主軸だが、修理やデータ復旧のほかオリジナルパソコンの組み立てやパソコン教室なども業務範囲だ。「どうぞ、パソコンでお困りの時は、お気軽に」という亀田健司さん。

最後にユーザーへ「パソコンデータの保存に絶対安心はありません。必ず複数の保存媒体への保存を。それがあればデータを失うリスクが減ります」と、貴重な助言をいただいた。



専門的な知識と技術で修理に対応する亀田健司代表取締役

▶ 株式会社 亀幸 〒606-0815 京都市左京区下鴨膳部町8 Riche葵101

TEL: 075-777-5534 E-Mail: info@kamekoh.com

ホームページ <https://www.kamekoh.com/>



# 地域活動レポート

～わたしたち～

## みんなの共同クローゼット 「ベビー&キッズ用品交換会」



武田さん（前列左）、田井中さん（前列中央）と温かく運営を支える地域のの方々

雲一つない青空の下、「こんにちは」「生まれてたて？かわいい！」「わ、大きくなったねえ」と会話が聞こえる中、25組の親子が子どものサイズに合う春服を選んで4月初旬。上京区東天秤町にある相談支援事業所しほふぁーれを会場に、ベビー&キッズ用品交換会（以下、交換会）を毎月開くスタッフの武田みどりさんと田井中麻美さんにお話を伺いました。

### 妊婦さんや子育てに関わる すべての人のための交換会

近所に暮らすママ友同士の武田さんと田井中さんが地域の主任児童委員になった2020年、「コロナ禍で集まりづらい中



畳の上でくつろぎながら服を選ぶ屋内スペース

で子育てをしている人たちが安心できる場を作りたい」と地域の方々に声を掛けて、2021年5月から毎月交換会を開くことにしました。

交換会では衣服の他、おもちゃや三輪車などの大型育児用品を扱い、「持ち込みできるものがなくても大丈夫。手ぶらでどうぞ」と呼びかけ、気に入った品を無料で持ち帰ることができます。

### 地域の子どもたちで着回して、 服を使い捨てずに大切に使う

子どもが成長して着られなくなった服が使われないままだったり、捨てられてしまったりしてはもったいない。武田さんは「交換会で子どもの衣類を揃えてもらえたら嬉しいです。使い終わったら戻して、また必要な物を選ぶというのは、交換するというよりもレンタルするという方が近いかもしれません。交換会を、みんなで物を大事に使い切る、みんなの共同クローゼットにしたいです」と語ります。

「あげる相手が見つからず、仕方なく捨てるか場所を取っていた物を交換できる場所ができて、節約にもエコにもなり助かっています」「ちょっとしか着ていない服を交換会に持ってきて誰かに着てもらえると嬉しいです」「初めての出産で、ベビー用品をどれだけ揃えるのか分からず心配していた時に交換会のことを知り、感謝しています」など参加者から伝えられる声は、主催者にとって励みになっていきます。



衣食住の「衣」を担っています。心強い！

### おさがりを通じたご近所さんとの つながりの輪を

約1年経った今春、武田さんと田井中さんは「わたしたち」という団体を立ち上げました。「地域に住む『わたしたち』で、主体性を持ってやっていきたい。参加者にとっても『わたしたちの場』と思ってもらえたら」という思いが込められています。子育てに必要な物を共有し、おさがりを通じて人と人のつながりもできるような交換会。今後の展開が楽しみです。

ベビー&キッズ用品交換会

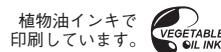
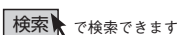
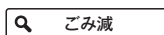
ホームページ <https://atkyoto.crayonsite.net/>  
LINE公式アカウント <https://lin.ee/qPKRabG>



亀村 佳都（2022年4月5日取材）

## 『わたしのごみ減らし術』 ▶ コーヒーも紅茶も、2度楽しもう

朝食のコーヒー、午後の紅茶、くつろぎのひとときに飲むハーブティー。毎日、欠かせないドリンク。実は、出がらしが大活躍してくれるのです。コーヒーも紅茶もハーブティーも乾燥させて古布で作った小袋に入れると消臭剤の出来上がり。下駄箱や玄関などにおすすめ。ハーブティーは湿った葉を乾燥させ、サッと揉むと香りが立つので、タンスにも使えます。（北区 Yさん）



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！